

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

戦略的な観光振興施策⑤

2026年NHK大河ドラマを活用した誘客促進事業

R 7 予算案 50百万円 (R 6 予算 —)

NHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」概要

タイトル：「豊臣兄弟！」
放送開始：令和8年1月

強い絆で天下統一という偉業を成し遂げた
豊臣兄弟の奇跡——
夢と希望の下廻りサクセスストーリー。

主人公：豊臣秀長（豊臣秀吉の弟）
想定される舞台：奈良県大和郡山市、
愛知県名古屋、滋賀県長浜市

奈良県と大河ドラマ

- ・奈良県が舞台となる大河ドラマは、1971年「春の坂道」以来55年ぶり。
- ・2025大阪関西万博が終わり、奈良県にとって次なる誘客につながる大きなチャンス。



2026年NHK大河ドラマを活用した誘客促進事業を展開

〈令和7年度の取組〉

大河ドラマを契機として、ドラマの舞台となる大和郡山市だけでなく
県全体への誘客促進を実施。

- ①秀長関連情報やゆかり地域だけでなく、県全体の魅力発信も含めた複合的な誘客プロモーションの実施
(観光パンフレットの作成、特設HP及びメディア等を活用した発信など)
- ②関連府県と連携した周遊企画や相互の誘客を促進する連携プロモーションの実施
- ③秀長関連の講演会や各種イベントの開催など



P.34 観光の振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

戦略的な観光振興施策⑥

協定に基づいた民間企業等との連携推進事業

R 7 予算案 10百万円 (R 6 予算 —)



「大阪・奈良楽遊パス」の更なる利用促進



- 趣旨** ○令和6年度、2025年大阪・関西万博を契機とし、令和6年5月に連携協定を締結した大阪観光局との連携に基づき、都市型観光資源の多い大阪と歴史文化的な観光資源が豊富な奈良を結ぶ「大阪・奈良楽遊パス」を造成（令和7年2月14日から一部先行販売開始）。
シームレスな決済環境の実現、県内への誘客・周遊の促進を図る。
→令和7年度予算では、外国人観光客の認知拡大を図るため、海外OTAサイト等へのプロモーションや大阪・奈良楽遊パスHPの更なる充実を図る。

パス概要 利用者が事前にWEB上でパスを購入し、パスへ参画した観光施設及び交通機関にQRコードを提示することで、窓口で料金を払わなくても入場可能となるデジタル周遊パス。

- ①「大阪・奈良楽遊パス（北部）」と②「大阪・奈良楽遊パス（南部）」の2種類を造成。
 - ①「大阪・奈良楽遊パス（北部）」は、大阪市内から近鉄奈良までの鉄道と、その沿線の観光スポットをセットにしたもの
 - ②「大阪・奈良楽遊パス（南部）」は、関西国際空港から奈良県内へのレンタカーと、大阪・奈良の中南部の観光スポットをセットにしたもの

【利用イメージ】



パス購入



QRコード提示
(交通機関)



QRコード提示
(観光施設)



北部バス（2日券）4,800円



南部バス（2日券）3,500円
施設券2/14～販売開始

P.34 観光の振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

奈良の食と農の魅力づくり①

R7予算案 342百万円 R8~15債務負担行為 34,685百万円
(R6予算 586百万円)

中央卸売市場再整備推進事業

食の流通拠点としての機能を備え、奈良県民の食の安全・安心を確保する「市場エリア」と、市場の機能や立地を活かし、地域の賑わいを創出する「賑わいエリア」について、親和性のある一体的な整備を行う。

R7予算案 342百万円 (R6予算 586百万円)

[市場エリアの整備事業者募集・選定、市場北側用地の買収、市場北側用地の造成に向けた実施設計 他]

市場エリア (市場機能の高機能化・効率化)

【開業目標年度：令和13年度(工事完了は令和15年度)】

- ・食の流通拠点機能を充実させ、持続可能な市場を目指す。
- ・両エリアの一体的な整備を念頭に置きながら、先行して整備

中央卸売市場再整備推進事業 (市場エリア整備事業)

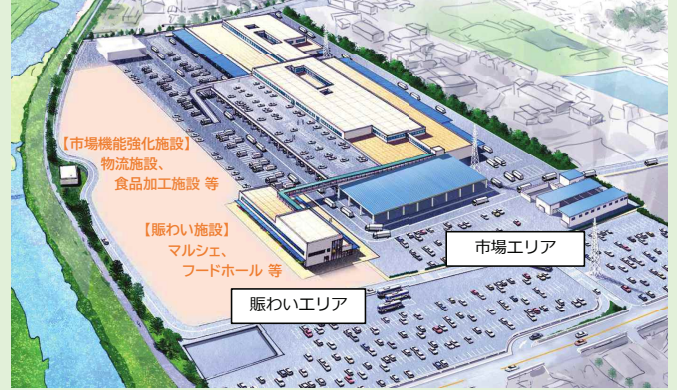
R8~15債務負担行為 34,685百万円

事業期間：令和8年度~令和15年度

整備手法：民間の技術等を活用できるPFI手法 (BT方式)

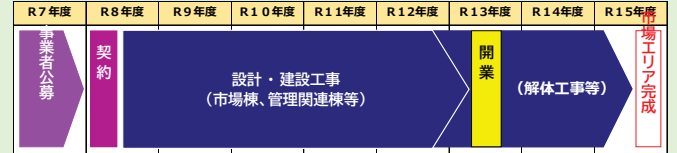
※BT方式…PFI事業者が施設を建設し、建設後に施設の所有権を県に移転する方式

【再整備後のイメージ】



※賑わいエリアの整備内容は市場エリアの整備中に検討するため現時点では未確定

【市場エリア整備のスケジュール】



賑わいエリア (「食」を通じた地域の賑わい拠点創出)

- ・「食」と親和性の高い一般消費者向けの賑わいを創出
- ・市場機能の強化、活性化に資する施設の整備についても検討
- ・市場エリアの整備中に整備手法を検討し、整備事業者を募集

P.35 食と農の振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

奈良の食と農の魅力づくり②

R8~11債務負担行為 4百万円
(R6予算 -)

① NAFICフードクリエイティブ学科県内開業・就業支援

県内で開業・就業する学生を増やすとともに、NAFICフードクリエイティブ学科の入学希望者増加に繋げるため、県内において飲食店の開業、または県内の飲食店等に就業する者に対して授業料の半額相当を還付する制度を設ける。

【要件】

学業優秀かつ、

- ①卒業後半年以内に県内飲食店等に就業し、3年以上就業を継続した者もしくは、
- ②卒業後3年以内に県内で飲食店を開業した者

○上記要件を満たしたうえで、卒業生からの還付申請をもとに授業料の半額相当を還付する。(授業料：年額535,800円)

〈これまでに開業したNAFIC卒業生〉



←曾爾高原を一望する高台にオーベルジュを開業。フランス料理をベースに曾爾の食材を使った「里山フレンチ」を提供。



←素材にこだわったランチやスイーツを提供する洋風おしゃれカフェを明日香村に開業

P.35 食と農の振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を見据えた魅力向上推進①

R7予算案 537百万円 R6・2月補正予算案 20百万円
R8債務負担行為 20百万円 (R6予算 394百万円)

1. 観光客等にとって魅力ある「飛鳥・藤原」の説明力強化

R7予算案 384百万円 (R6予算311百万円)
債務負担行為 20百万円

- ① 「飛鳥・藤原の宮都」の令和8年夏の世界遺産登録を目指し登録推進事業の推進
- ② ① 情報発信施設及びコンテンツの充実
 - ・万葉文化館内に世界遺産の総合的解説を行うガイダンスエリアの創設
 - ・統一的な説明板の企画・制作
 - ・「飛鳥・藤原」映像コンテンツをスマートフォン等から閲覧できるようにシステムを構築 (ほか)



飛鳥・藤原をテーマとした写真集
(撮影：石川直樹)

- ③ 「飛鳥・藤原」来訪者への魅力あるイベント・展示の開催
 - ・① 飛鳥を中心とした奥深い古代文化の写真展を開催 (万葉文化館)
 - ・② インバウンド層や若年層をターゲットとした普及啓発イベント及び映像制作・活用
 - ・「飛鳥・藤原」関連出土品の展示 (橿原考古学研究所附属博物館)



万葉文化館

- ④ 史跡飛鳥宮跡及び史跡・名勝飛鳥京跡苑池の保存と整備の推進
 - ・飛鳥宮跡及び飛鳥京跡苑池の公有化、発掘調査、暫定整備
 - ・飛鳥宮跡の保存整備に向けた現地測量、飛鳥京跡苑池の南池を復元する整備手法の検討 (ほか)



発掘調査現場の公開

P.37 文化の振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を見据えた魅力向上推進②

2. 快適な「飛鳥・藤原」周遊環境の整備

R7予算案 114百万円 R6・2月補正予算案 20百万円
(R6予算 71百万円)

- ⑤ 明日香村内での自動運転等デジタル技術を活用した交通サービスの導入支援
- ⑥ プロガイドを活用した高付加価値ツアーの造成支援や地図アプリ上の観光情報発信力の強化支援
- ⑦ ① 「飛鳥・藤原」の価値を体感できる周遊企画商品の造成
- ⑧ 古都買入地の管理・整備
- ⑨ 明日香村が実施する歴史的風土の創造的活用を図る事業を支援 (ほか)



飛鳥宮跡・飛鳥京跡苑池

3. 「飛鳥・藤原」の更なる魅力の発信

R7予算案 39百万円 (R6予算 13百万円)

- ⑩ コンテンツ発信、多言語パンフレットの作成・配布
- ⑪ ① パリ・ユネスコ本部での「飛鳥・藤原の宮都」の魅力のPR及びインバウンド誘客促進
- ⑫ 魅力発見と情報発信につながる史跡周辺農村地域での農作業体験メニュー等の検討
- ⑬ 万博会場において「飛鳥・藤原」をPR (ほか)



「飛鳥・藤原」公式HP

P.37 文化の振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

国スポ・全スポ奈良大会準備の推進

R 7 予算案 725百万円 R 8 債務負担行為 140百万円
(R 6 予算 402百万円)

①国スポ・全スポ大会準備委員会の運営

R 7 予算案 21百万円 (R 6 予算 11百万円)

- ・令和13年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催に向けた、大会準備委員会の運営
- ・大会愛称やスローガン等の選定

②競技力の持続的な向上、スポーツ人材の育成

R 7 予算案 202百万円 (R 6 予算 106百万円)

- ・(公財)奈良県スポーツ協会への事業補助を通じ、アスリートや指導者の活動を支援
- ・将来の活躍が期待できるジュニアアスリートを発掘、育成



未来のトップアスリート▶
発掘育成事業

③スポーツ拠点施設の整備

R 7 予算案 302百万円 (R 6 予算 285百万円)

- ・基本構想を踏まえ、橿原公苑や医大新駅西側における新アリーナ等の施設の配置、詳細な整備に関する基本計画の作成と、事業費、スケジュール等を検討
- ・医大新駅西側の文化財発掘調査等を実施



▲メインアリーナ(Bリーグ利用例)



▲サブアリーナ(利用例)

④新市町村の競技施設の整備を支援

R 7 予算案 200百万円 (R 6 予算 -)

- ・市町村等が行う、大会の競技会場となる施設の整備・改修に要する経費に対し補助

P.38 スポーツの振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

南部東部地域の振興①

R 7 予算案 294百万円
(R 6 予算 311百万円)

1. 定住の促進

R 7 予算案 132百万円 (R 6 予算 151百万円)

- ①市町村が大学・研究室、民間事業者等と連携して取り組む事業に対し補助
- ②奥大和移住定住交流センター「engawa」を運営
- ③移住体験プログラムの実施
- ④移住・定住等を促進するための拠点施設整備を支援
- ⑤雇用創出を促進するための各プログラムを実施
 - ・新 デジタル人材の育成プログラム
 - ・新 奥大和地域での学生就業支援プログラム
 - ・地域産業のブランド力向上プログラム

ほか



奥大和移住定住交流センター「engawa」 「奥大和アウトドア・スポーツツーリズム」

2. 交流の促進

R 7 予算案 114百万円 (R 6 予算 114百万円)

- ⑥奥大和地域の自然を活用したアウトドア・スポーツツーリズムの推進
- ⑦新「こどもが遊ぶ場」となるイベントの実施や、子育て世代が楽しめるうだ・アニマルパークの新たな魅力を創出
- ⑧トレイルランニングイベント「Kobo Trail」の開催
- ⑨2025年大阪・関西万博を契機とした奥大和地域への誘客を促進

ほか

3. 力強い市町村づくり

R 7 予算案 48百万円 (R 6 予算 46百万円)

- ⑩南部・東部地域の市町村と協働し、市町村職員を確保・育成するための広報、研修等を実施
- ⑪地域支援員が、南部・東部地域の地元ニーズを把握し、南部東部振興の調整を図る

ほか

P.39 南部東部地域の振興

Ⅲ 豊かで活力ある奈良県を創る責任(3つの責任)

南部東部地域の振興②

R7予算案 10百万円
(R6予算 -)

新 ツキノワグマの動向把握

放獣するツキノワグマの動向の把握

R7予算案 10百万円 (R6予算 -)

- ・奈良県に生息するツキノワグマは絶滅のおそれがあるとされていることから、捕獲された場合は、人里に対し恐怖心や忌避感を学習させたくて山奥へ放獣
- ・上記の「学習放獣」を実施するツキノワグマに対しGPS計測機能付首輪を装着、放獣後の動向を把握
- ・GPS計測情報は首輪に蓄積され、携帯電話通信で適宜送信
- ・ツキノワグマが接近した場合にアラートを通知するシステムを構築



▲GPS首輪による放獣後の動向把握を実施

▲使用する首輪



▲GPS計測データを分析

P.39 南部東部地域の振興

Ⅳ 3つの責任をしっかりと果たすために

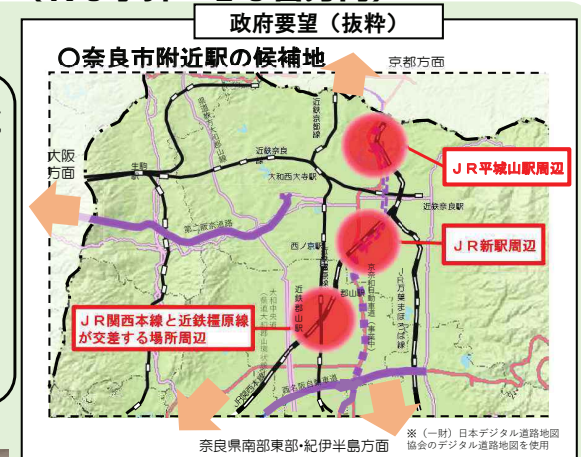
リニア中央新幹線「奈良市附近駅」早期確定等

R7予算案 5百万円
(R6予算 10百万円)

リニア中央新幹線調査検討事業

令和6年度の取組内容

- ・7月、11月に「奈良市附近駅」の早期確定を求める政府要望を実施
 - ・リニア中央新幹線の建設促進のため、全国期成同盟会（10都府県）三府県大会（三重県・奈良県・大阪府）、県期成同盟会を開催
 - ・JR東海、三重県、奈良県、大阪府及び国と建設促進連携会議を設置
- 令和6年10月までにJR東海が県内駅候補地3箇所周辺のボーリング調査を実施



JR東海が駅位置及びルートを確認するためのボーリング調査を実施（令和5年12月～令和6年10月）



P.40 県発展のための基盤整備

県期成同盟会の開催



三府県大会の開催



三府県建設促進連携会議



R7予算案 5百万円 (R6予算 10百万円)

- ・リニア中央新幹線の整備促進に関する調査・検討

IV 3つの責任をしっかりと果たすために

道路整備の加速化①

R 7 予算案 26,265百万円 R 8～9 債務負担行為 17,411百万円
(R 6 予算 24,322百万円)

①道路整備を加速化するため3つの改革を実施

改革1：土地収用制度の積極的活用

一定期間経過後は速やかに土地収用手続きに着手

改革2：埋蔵文化財調査の加速化

調査体制の強化や調査機材の充実、
発注方法の見直し等の環境整備

改革3：選択と集中による工事の加速化

事業実施環境が整った区間へ予算を重点化

◇ R 7 から新たな取り組み

・小規模道路改良提案制度(ワルズプロジェクト)を運用開始

規模が小さくても一定の要件を満たす道路改良について、土木事務所の裁量により事業着手を判断し、着手から概ね1年以内の完成を目指す

②骨格幹線道路ネットワーク等の整備推進

R 7 予算案 8,460百万円 (R 6 予算 8,418百万円)

R 8～R 10 債務負担行為 15,211百万円

- ・国道168号(香芝王寺道路、王寺道路、新天辻工区等)
- ・国道169号(御所高取バイパス、高取バイパス等) 他

<国道168号香芝王寺道路>



4車線への拡幅工事を推進【令和6年度一部供用(香芝市北今市～王寺町富田4丁目)】

③京奈和自動車道等の整備推進

R 7 予算案 14,926百万円 (R 6 予算 14,035百万円)

R 8 債務負担行為 700百万円

- ・京奈和自動車道(大和北道路、大和御所道路)
- ・(都)西九条佐保線 他

<京奈和自動車道(大和御所道路)>



(仮称) 橿原 J C T (大阪方面接続ランプ)【令和8年春供用】

P.40 県発展のための基盤整備

IV 3つの責任をしっかりと果たすために

道路整備の加速化②

④『ならの道 リフレッシュプロジェクト』の対象を拡大

1. 対象路線の拡大

(自動車交通量の多い道路への拡大)

R 7 予算案 2,869百万円 (R 6 予算 1,869百万円)
R 8～9 債務負担行為 1,500百万円

当初

- 実施期間：5ヶ年(R 6年～R 10)
- 対象道路：大型車交通量1,000台・方向以上の県管理道路 約122km
R 7 予算案 1,869百万円 (R 6 予算 1,869百万円)

➕ より多くの道路利用者への快適な道路空間の提供

拡大

- 実施期間：4ヶ年(R 7～R 10)
- 対象道路：自動車交通量10,000台以上の県管理道路約198km
R 7 予算案 1,000百万円 (R 6 予算 -)

リフレッシュプロジェクトの主な実施内容

- ①舗装の耐久性向上 ・R 7内訳 1,140百万円
従来の表層・基層の修繕に加え、路面の損傷度に応じた路盤の修繕
- ②区画線の維持修繕(視認性の向上) ・R 7内訳 560百万円
通報やAI解析によるデータベースに基づいた計画的な区画線補修
- ③草刈りのメリハリ化(不快感の軽減) ・R 7内訳 476百万円
道路への雑草が生えない対策、観光地や危険箇所にも注目した草刈り等
- ④道路維持管理のDX(通報しやすさの向上、道路状況確認の効率化)
LINE(#9910)による通報サービスの活用、スマートフォンを利用した道路パトロール

2. 山間エリアへの拡大

(市町村と連携した支障木伐採負担事業の創設)

R 7 予算案 10百万円 (R 6 予算 -)

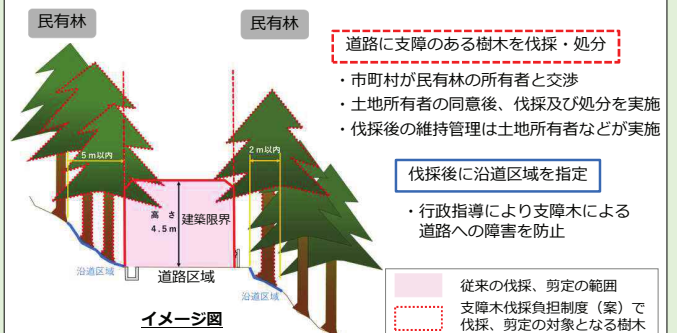
現状

山間エリアにおける課題
⇒ 放置された民有林からの枝落ちや倒木により、
道路利用者の安全・安心な通行が脅かされる状況

市町村と連携した民有林の支障木への対策

支障木伐採負担事業の創設

(県の負担は、伐採及び防草対策(1回分)費用)



- ・令和7年度に野迫川村を対象に試行的に実施
- ・令和8年度から全県的な本格展開を予定

P.40 県発展のための基盤整備

IV 3つの責任をしっかりと果たすために

大阪・関西万博を契機とした産業と観光の振興

R7予算案 502百万円 (R6予算 323百万円)

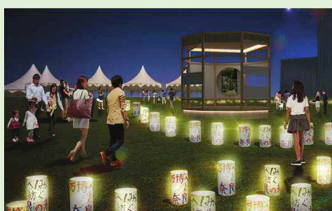
1. 大阪・関西万博を契機とした奈良県の魅力発信

R7予算案 297百万円
(R6予算 317百万円)

- ①大阪・関西万博での会場催事及び県内誘客催事を実施
 - ・万博会場において、県無形文化財の祭等を披露
 - ・県内において、優れた地場産品を集めたクラフトフェア等を開催
 - ・関西パビリオンの参加負担金
- ②大阪・関西万博を契機とした誘客促進プロモーション



EXPOアリーナ (Matsuri) イメージ
提供：2025年日本国際博覧会協会



会場催事イメージ

2. オープンファクトリーの推進及び誘客・周遊促進

R7予算案 35百万円
(R6予算 5百万円)

- ①クラフトフェアの開催に合わせ、ものづくり現場を見学、体験してもらうオープンファクトリーの取組を推進
- ②大阪・奈良間や県中南部を巡るデジタル周遊パス、観光WEBサービス「ならいこ」による誘客・周遊促進



オープンファクトリーの様子 (葛城市)

3. 未来を担う子どもたちを大阪・関西万博へ招待

R7予算案 170百万円
(R6予算 1百万円)

校外学習で大阪・関西万博を訪れる県内小・中・高等学校等に対して、入場料を助成



会場 (夢洲) イメージ
提供：2025年日本国際博覧会協会

P.42 広域での連携

IV 3つの責任をしっかりと果たすために

県庁の働き方・職場環境の改革

R7予算案 609百万円
R8~12債務負担行為 420百万円
(R6予算 310百万円)

1. 健康が基本的な価値となる組織の構築

R7予算案 28百万円 (R6予算 28百万円)

- ①勤務時間適正管理システムの運用
- ②総合的なメンタルヘルス対策
 - ・ストレスチェック、窓口相談、研修等
- ③職場復帰支援



窓口相談

2. 創造性を促し、生産性を高める環境の整備

R7予算案 48百万円 (R6予算 41百万円)

- ④電話対応の効率化
 - ・自動音声案内機能の導入 (順次拡大)
- ⑤文書管理システムの運用
- ⑥生成AIを活用した資料作成、庁内問合せ対応の効率化

3. 多様な人材が集まり、活躍できる包摂性の高い環境の整備

R7予算案 97百万円 (R6予算 98百万円)

- ⑦多様で柔軟な働き方の推進
 - ・フレックス勤務、テレワーク
- ⑧多様な人材確保の推進
 - ・リクルート活動
 - ・SPIによる採用試験の本格化
 - ・修学資金 (総合土木、獣医師)



知事によるリクルート活動

4. 組織内外における交流と結びつきを促す環境の整備

R7予算案 372百万円 R8~12債務負担行為 420百万円
(R6予算 79百万円)

- ⑨業務効率化に資するネットワーク環境への見直し、組織内に蓄積されたノウハウや知恵を効率的に活かすための情報共有ツールの運用
- ⑩民間企業との人事交流、海外大学院への派遣



イギリス ヨーク大学大学院

5. 社会情勢の変化を捉え、県民の利益に資するものとなるよう、主体的に意欲的な課題設定ができる環境整備と組織運営

R7予算案 17百万円 (R6予算 17百万円)

- ⑪職員の意識や働き方改革の進捗を把握する調査、360度評価

6. 県民全体への奉仕者として楽しく、失敗を恐れず果敢に挑戦できる人材の育成

R7予算案 47百万円
(R6予算 46百万円)

- ⑫職員が自発的に自己研鑽できる動画研修システムの運用



動画研修システム (ならっCiao!)

P.43 県庁の働き方・職場環境改革の推進